

# 株式会社 高南農産

(新潟県村上市)

～ 施設外就労ができる福祉事業所が増えることを期待 ～



(株)高南農産



恵まれた自然環境で育つ岩船産米



福祉事業所による水稻苗箱洗い

## 経緯

- 平成4年10月に前身の農事組合法人を設立。その後、平成25年1月に株式会社化。
- 平成30年は、水稻45ha、大豆50haを栽培。
- 以前えだまめ栽培をした時、脱穀・調製、袋詰め of 労働力の確保が大きな課題となり、農福連携の取組を開始。

## 取組

- 平成24年から水稻苗箱（9,000枚）洗いの作業を福祉事業所に委託。
- 平成27年から「新潟県農作業受託サポーター配置事業」を活用。
- 平成30年は、水稻苗箱（10,000枚）洗い及び大豆の除草を一部作業委託。
- 福祉事業所に作業を委託することで、従業員の負担軽減につながった。
- 初めて作業を委託する際は不安もあったが、回数を重ねることで作業に慣れ、進んで作業をしてくれる姿を見て信頼関係も生まれた。

## 今後の展望と課題

- 当社以外からも福祉事業所への作業委託が増えてきており、今後、施設外就労ができる福祉事業所が増えることを期待したい。
- 突発的に農作業を委託しても福祉事業所が受託できないことがあるため、農業者と福祉事業所との定期的なスケジュール調整による農作業受委託計画の構築が必要と考えている。
- 障がい者は、屋外で体を動かす作業を希望したり、得意とする人も多く、屋外での農作業を通じ、障がい者の就労の機会が拡大し、農作業活躍の場が増えることを期待したい。
- 今後も、働きやすい環境づくりや安全面に万全を期し、福祉事業所との信頼関係を構築し、農福連携の継続と定着を目指したい。